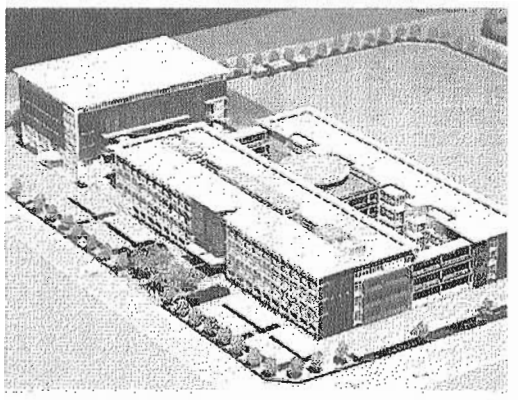
・開陽高校・指宿市学校給食センター
・宇宿地下道（鹿児島市宇宿広木線）堂々完成

県立開陽高校竣工記念式典

県初 単位制高校の竣工祝う



開陽高校完成全景（上）と竣工を祝しテープカットを行う関係者ら＝鹿児島市の現地で

県立開陽高等学校竣工記念式典が27日、鹿児島市上福元町の現地で関係者多数が出席して開かれ、本県初となる単位制高校の新校舎竣工を盛大に祝った。

オープニングでは、須賀龍郎県知事ら9人がテープカット。このあと、会場を体育館棟に移して開かれた式典では、初めに須賀県知事が「本県初となる単位制高校新校舎の竣工、誠におめでとうございます。同校は、高度化・多様化する生徒の要望に応えた施設で、学年がなく多様な履修形態で自由に科目を選択できます。誇りと自覚を持って取り組んでいただき、夢を実現できるように頑張ってほしい」と式辞を述べた後、福元紘県教育長が事業経過を報告した。

次いで感謝状贈呈に移り、設計・工事監理者、施工業者を代表して㈱創建築計画研究所の溝口駿社長と㈱前田組の前田忠二会長に須賀県知事からそれぞれ感謝状が手渡された。続いて溝口宏二県議会議長と戸川堅久鹿児島市助役が「生涯学習の拠点、地域開放施設として開かれた同校にかかる期待は大きい。校訓である（夢・実現）に向けて頑張ってほしい」とそれぞれの立場から祝辞を寄せた。

最後に同校生徒を代表して吉永臣さんが「最新設備を備えた学校を建設していただき、大変感謝しております。一人ひとりが力を合わせて一歩ずつ確実に成長していき、地域に愛される学校を目指して頑張ってまいります」と喜びの言葉を述べ、今村勇同高校校長が「これからの高校教育の新しい風となりまい進し、伝統と歴史を築いてまいりたい」と感謝の言葉を述べた。

同校は、本県初の単位制高校として、平成12年4月、鹿児島市下伊敷に開校。15年4月から既存の定時制・通信制課程に加え、全日制課程を新たに開設し、同市上福元町（県農業試験場跡地）に移転して本格的に開校する。

校舎建設は13年10月に本体施工に着手し、今年3月に完成、このほど竣工した。建物規模は、RC造一部S造で管理特別教室棟4階、普通教室棟3階、体育館棟4階、図書館3階、給食棟平屋建ての合計延べ床面積は1万7078平方㍍。

今後の計画では、15年度中にグラウンド整備と照明施設設置などを行う予定。総事業費は約52億円。

完成祝しテープカットを行う関係者＝指宿市の現地で

指宿市 学校給食センター落成祝賀会

食の大切さ伝える場に

指宿市東方に建設が進められていた同市学校給食センターがこのほど完成し、27日に発注者の田原迫要指宿市長をはじめ、来賓、工事参加業者、同市内の魚見小学校の生徒ら20人を含む約200人が出席して落成祝賀会が開かれ、全員で同センターの完成を祝った。

午前10時30分、オープニングセレモニーの後に田原迫市長や来賓らの手によってテープカットが行われ、その後、各々に施設内の調理現場を視察ルートに沿って見学。出席者らは初めて見る調理作業風景を興味深く見守っていた。同センターの建物規模はS造2階建延べ1852平方㍍、9校3000食に対応する。

このあと、同センター敷地内で式典に移り、田原迫市長が「同センターの建設に際し、多くの皆様方からさまざまな意見を頂きながら議論してきた結果、自校式の給食センターが必要だということで14年に建設に着手、この度の完成に至った。今後、このセンターが子供たちに食の大切さを伝え、食を通じて多くの事を学ぶ拠点となるよう努力していきたい」と式辞を述べた後、施工業者らへ感謝状の贈呈が行われた。

来賓祝辞の後、センターで調理された給食が出席者全員に配給され、打越あかし県議の発声により牛乳で乾杯。出席者らは、初めて食べるセンター給食に舌鼓していた。

今回、同センターの設計・監理に携わった㈲山下建築設計事務所の山下一英社長は「安全でおいしい給食作りと、工場らしくない給食センターをコンセプトに設計した。2階部は、調理・コンテナ・洗浄の各工程が一目で分かることを重視し、エレベーションに関しては、おいしく食べて栄養摂取することを基本理念に、野菜・サラダラインなどの最新設備を設置すると共に、壁の一部に菜の花をイメージした黄色をアクセントとして配し、指宿らしさを強調してみた。同センターが、子供の食文化教育の担い手となってもらえることを祈念したい」と同センターに対して期待を寄せた。

工事参加業者は次の通り。

設計・監理＝山下建築設計事務所▽本体施工＝南組・川路建設JV▽機械・空調換気設備＝九州電気水道▽電気設備＝藤電設▽厨房機器＝タニコー

宇宿広木線地下道が完成

立体交差で渋滞を緩和

鹿児島市

完成した宇宿広木線地下道（上）と土木施工業者を代表して感謝状を贈呈される鮎川利明社長（右）＝鹿児島市の現地で

鹿児島市の都市計画道路「宇宿広木線」において宇宿中間地区土地区画整理事業区域内からJR指宿枕崎線及び市電谷山線と立体交差して国道225号まで通じる宇宿地下道がこのほど完成し、27日、現地で完成式典が行われ、行政関係者、施工業者、地域住民ら多数が出席して完成を祝った。

完成式典に先立ち、安全祈願祭が執り行われ、赤崎義則市長や上門秀彦市議会議長らが玉串を捧げて完成を祝うと共に、今後の車両通行の安全を祈願。引き続いて、地下道入口で赤崎市長らがテープカットを行ったほか、めぐみ保育園児らと一緒にくす玉を割り、渡り初めを行った。

合同式典では、赤崎市長が「この地下道の立体交差化により渋滞緩和が図られ、地域の道路交通の円滑化と安全性の向上、交通体系の改善に大きく寄与することを期待しています」と挨拶した後、園田太計夫市建設局長が工事経過報告を行い、設計・施工に携わった業者に感謝状が贈呈された。

宇宿広木線は、県道永吉入佐鹿児島線から県道郡元鹿児島港線（産業道路）までを結ぶ延長約3800㍍（代表幅員16m）の都市計画道路で、平成元年に都市計画決定。このうち、同事業区域内から産業道路までの延長770㍍（立体交差部478m、一般部291m）について、9年10月に都市計画道路事業として事業認可を受け工事着手した。

今回、供用した区間（L597m×W15～20m）は事業費約49億円を充て、JR指宿枕崎線及び市電谷山線と立体交差する地下道部（L251m）と明かり部（L228m）、一般部（L118m）を整備。今後は、国道225号から産業道路までの173㍍について15年度内の施工、供用開始を目指す。全体の総事業費は約62億円。

設計・施工業者は次の通り。

設計＝サンコーコンサルタント　トーニチコンサルタント▽土木施工＝鮎川建設　鹿大丸建設　久保組　森山㈱組　森山土木　南生建設　シスコン建設工業　三輝開発工業　森山鑾組　坂本建設　鹿動建設　植村建設　茂建設　水口建設　大城内田組　清美土木　大坪建設　田平建設　上原塗装　川添建塗工業　金丸造園土木▽電気＝稲盛機工店　栄電社　安楽電気　松下電器産業

建設業許可申請
変更届・資格審査申請・官公庁許認可・登録申請手続き致します
許認可コンサルタント
安田行政法務事務所
鹿児島市中央町5－41 トーカンマンション白雲602号
TEL 252-8084
FAX 252-1144